

宮古島市子ども・子育て支援事業計画(改訂版)

計画期間:平成30年4月～平成32年3月



宮古島市 子ども・子育て支援事業計画
ていだ ぬ んらめ
太陽の子・もやいプラン
～ 結いの力で拓く子・親・地域の未来～



【もやう・餅う】
船と船をつなぎとめる。船を岸につなぎとめるの意味。
子どもと大人、子ども同士・大人同士が、地域を繋ぎにつながりあい、結の力で豊かな宮古島市の将来を切り拓くことを願っている意味を込めています。
また、平成27年3月に伊豆群島築橋が実現したことにより、宮古島市がより一体となったことをイメージしました。



平成27年3月
沖縄県宮古島市

平成30年3月

宮古島市

1 計画改訂の趣旨

- (1) 趣旨……………1
- (2) 見直しのための考え方……………2
- (3) 対象期間……………2
- (4) 対象事業……………2

2 教育・保育の「量の見込み」及び「確保方策」について

- (1) 就学前の推計児童数……………3
- (2) 教育・保育の「量の見込み」……………3
- (3) 「量の見込み」に対する「確保方策」……………4
- (4) 見直し後の事業計画……………4, 5

3 放課後児童健全育成事業の見直しについて……………6, 7

1 計画の見直しにあたって

(1)趣旨

平成27年3月に、「子ども・子育て支援法」に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画として、すべての子ども・子育て家庭を社会全体で支援し、「保育の量的拡充・拡大」、「すべての子どもに質の高い教育・保育の安定的な提供」、「地域子ども・子育て支援の充実^{ていだぬふふあ}」を目指し、平成27年度から平成31年度までの5カ年計画として「宮古島市子ども・子育て支援事業計画(太陽の子・もやいプラン)」(以下「事業計画」と言う。)を策定しました。

計画推進にあたって、ニーズ調査の結果を基に「量の見込み」を算出し、施設整備や事業拡大による「確保方策」を実施して参りました。

今年度は、事業計画の中間年にあたり、国の基本方針の中で、「支給認定区分ごとの子どもの「実績値」が、事業計画での「量の見込み」よりも10%以上のかい離がある場合には、見直しが必要」としています。

○事業計画の「量の見込み」と「平成28年4月1日時点の支給認定区分」との比較

	1号認定	2号認定		3号認定	
		教育	保育	0歳児	1・2歳児
①事業計画の「量の見込み」	319	422	895	235	771
②平成28年4月1日時点の支給認定区分	246	376	1,047	226	927
③差引(①-②)	-73	-46	152	-9	156
比較のかい離率(③/①)	-22.9%	-10.9%	17.0%	-3.8%	20.2%
見直しの必要性(上段のかい離率が10%以上)	要	要	要	否	要
かい離が生じている理由として想定されること	・預かり保育の利用や保育所での5歳児保育の希望が増えたため	・保育所での5歳児保育拡充により、保育所の利用が増えたため		乖離率がい10%以内	認可外保育施設の認可化整備などにより保育所利用希望が増えたため

(2) 見直しのための考え方

本市においては、当初計画策定時点の値と実績値(平成28年4月1日時点の支給認定区分の数値)が10%以上のかい離が生じているため、国が示した「市町村子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しのための考え方(作業の手引き)」に基づき、見直しを行います。さらに見直し後の「量の見込み」に応じた「確保方策」についても見直しを行います。

また、「地域子ども・子育て支援事業」については、放課後児童健全育成事業の見直しを行います。

(3) 対象期間

平成30年度・平成31年度

(4) 対象事業

①第5章 施策の内容:1. 基本目標Ⅰ 教育・保育(2)教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」について

②第5章 施策の内容:2. 基本目標Ⅱ 地域(2)地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」④放課後児童健全育成事業

2 教育・保育の「量の見込み」と「確保の内容」について

(1) 就学前の推計児童数(参考資料)

当初の事業計画では、就学前人口は、やや減少傾向にあるがほぼ横ばいであると推計されていました。今回、コーホート変化率法により推計を実施したところ、次の表のとおり、当初計画よりH30年度、H31年度とも減少する見込みとなりました。

【就学前人口推計】

単位:人

H30年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
当初計画	578	596	631	600	609	643	3,657
見直し	544	545	620	600	586	587	3,482

H31年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
当初計画	601	627	604	605	650	622	3,709
見直し	541	567	554	628	599	587	3,477

(2) 教育・保育の「量の見込み」

就学前人口は、減少傾向ですが保育所への申込数は、各年度4月現在でH27年度1,822人、H28年度2,071人、H29年度2,200人と増加しており、保育ニーズは年々高まっています。

「量の見込み」の算出としては、平成27年度から平成29年度までの1号から3号の各支給認定割合の平均値に、平成27年度から平成29年度までの前年度割合の平均値を加えた数値で算出しました。

この方法で算出した支給認定割合を就学前の推計児童数に乗じて数値を、「量の見込み」としました。

事業計画策定時の平成27年度からの実績値を基に、算出していますので、急激な増加とならないように教育・保育の「量の見込み」が反映されると考えています。

【算出方法例】

H27年度からH29年度までの前年度増減率の平均							H30年度 支給認定 割合 (①+②)
各年度支給認定割合			①3カ年の 支給認定 平均割合	前年度増減割合			
H27	H28	H29		H27⇒ H28	H28⇒ H29	②平均	
80.0%	80.0%	90.0%	83.3%	0.0%	10.0%	5.0%	88.3%

H27年度からH30年度までの前年度増減率の平均								H31年度 支給認定 割合 (①+②)	
各年度支給認定割合				①4カ年 の支給認 定平均 割合	前年度増減割合				
H27	H28	H29	H30		H27⇒ H28	H28⇒ H29	H29⇒ H30		② 平均
80.0%	80.0%	90.0%	88.3%	84.6%	0.0%	10.0%	▲1.7%	2.8%	87.4%

(3)「量の見込み」に対する「確保方策」

(2)で算出する「量の見込み」を上回るよう、認可保育園の創設や既存保育園の増改築及び定員の見直しを実施し、「確保方策」の見直しを行います。

また、当初計画では、教育・保育の提供区域を合併前の旧市町村単位で区別していましたが、利用の実情では、提供区域の隔たりが少ないため、今回の見直しにおいては、全体的な「量の見込み」及び「確保方策」を行います。

(4)見直し後の事業計画

平成30年度から平成31年度の見直し後の教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」は、次のとおりとなります。

①「量の見込み」

単位:人

H30年度	項目	1号認定	2号認定		3号認定	
			教育	保育	1, 2歳児	0歳児
	①当初計画	321	434	895	811	243
	②見直し	221	353	1, 086	953	291
	差引②-①	▲100	▲81	191	142	48

H31年度	項目	1号認定	2号認定		3号認定	
			教育	保育	1, 2歳児	0歳児
	①当初計画	329	432	914	806	248
	②見直し	221	353	1, 108	945	280
	差引②-①	▲108	▲79	194	139	32

当初計画と比較して、公立保育所及び認可保育園での5歳児保育の拡充により、1号認定及び2号認定(教育)が減少する見込みです。また、認可外保育施設の認可化や小規模保育施設等の増加の影響により、3号認定が増加する見込みです。

②「確保方策」

単位:人

H30年度	項目	1号認定	2号認定		3号認定	
			教育	保育	1, 2歳児	0歳児
	①当初計画	601	899	1, 008	837	248
	②見直し	653	310	1, 267	978	294
	差引②-①	52	▲589	259	141	46

H31年度	項目	1号認定	2号認定		3号認定	
			教育	保育	1, 2歳児	0歳児
	①当初計画	601	899	1, 008	837	248
	②見直し	653	310	1, 267	978	294
	差引②-①	52	▲589	259	141	46

今後の対応としては、認可保育園の創設や、既存保育園の増改築や定員の見直し、公立幼稚園及び保育所の認定こども園への移行などを実施し、利用定員の拡充を図っていきます。

③見直し後の「量の見込み」と「確保方策」の比較

単位:人

H30年度	項目	1号認定	2号認定		3号認定	
			教育	保育	1, 2歳児	0歳児
	①量の見込み	221	353	1, 086	953	291
	②確保方策	653	310	1, 257	978	294
	差引②-①	432	▲43	171	25	3

H31年度	項目	1号認定	2号認定		3号認定	
			教育	保育	1, 2歳児	0歳児
	①量の見込み	221	353	1, 108	945	280
	②確保方策	653	310	1, 257	978	294
	差引②-①	432	▲43	149	33	14

2号認定(教育)で不足が生じていますが、これは下地・上野の認定こども園で預かり保育を実施しないために、不足が出ています。

不足については、2号認定(保育)で受入をおこない、対応していきます。

※2号認定(教育):幼稚園・認定こども園で1号認定として、午後の預かりを利用している児童。保育の必要性があることから、2号認定教育と位置づけています。

3. 放課後児童健全育成事業の見直しについて

見直しの理由:各提供区域における「確保の内容」の数字について、当初計画時では各児童館の確保人数を含めていたが、放課後児童健全育成事業とは、放課後児童クラブを対象とした事業であるため、今年度策定した放課後児童クラブ整備計画に基づき、「量の見込み」及び「確保の内容」について、修正と見直しを行った。

【改訂前】④放課後児童健全育成事業（小学校）

事業内容	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。
現 状	本市では、平成 26 年 4 月現在、学童クラブ 14 力所で実施しており、利用人数は 250 名となっています。 利用料金については、各学童、各年齢により異なります。児童館は、平良南区・伊良部地区に 2 力所、下地地区、上野地区各 1 力所あります。利用料は無料です。
方 針	平良北区について、学童クラブ等の施設がないので、今後整備していくよう検討していきます。また、城辺地区についても、利用定員の拡大を検討していきます。
所 管 課	児童家庭課

提供区域	項目	H27	H28	H29	H30	H31
平良北 区域	量の見込み①	14 人	13 人	14 人	13 人	14 人
	確保の内容 ②	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	差引 ②-①	▲14 人	▲13 人	▲14 人	▲13 人	▲14 人
平良南 区域	量の見込み①	548 人	557 人	557 人	556 人	551 人
	確保の内容 ②	1,100 人	1,100 人	1,100 人	1,100 人	1,100 人
	差引 ②-①	552 人	543 人	543 人	544 人	549 人
城辺 区域	量の見込み①	37 人	37 人	36 人	36 人	35 人
	確保の内容 ②	30 人	30 人	30 人	30 人	30 人
	差引 ②-①	▲7 人	▲7 人	▲6 人	▲6 人	▲5 人
伊良部 区域	量の見込み①	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	確保の内容 ②	560 人	560 人	560 人	560 人	560 人
	差引 ②-①	560 人	560 人	560 人	560 人	560 人
上野 区域	量の見込み①	27 人	25 人	25 人	22 人	22 人
	確保の内容 ②	480 人	480 人	480 人	480 人	480 人
	差引 ②-①	453 人	455 人	455 人	458 人	458 人
下地 区域	量の見込み①	52 人	56 人	58 人	55 人	57 人
	確保の内容 ②	500 人	500 人	500 人	500 人	500 人
	差引 ②-①	448 人	444 人	442 人	445 人	443 人
合計	量の見込み①	678 人	688 人	690 人	682 人	679 人
	確保の内容②	2,670 人	2,670 人	2,670 人	2,670 人	2,670 人
	差引 ②-①	1,992 人	1,982 人	1,980 人	1,988 人	1,991 人

【改訂後】④放課後児童健全育成事業（小学校）

事業内容	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。
現 状	本市では、平成 29年5月現在、学童クラブ 9 カ所で実施しており、利用定員は 347 名、利用人数 347 名となっています。 利用料金については、放課後児童クラブによって異なります。
方 針	小学校区に 1 カ所以上の放課後児童クラブの整備に努め、利用を希望する全ての児童が利用できるよう利用定員の拡大を検討していきます。ただし、平良北区など、利用希望人数が 1 校区で 10 人に満たない場合は、2 校区以上の合同の放課後児童クラブの整備を検討し、利用しやすい環境整備に努めます。
所 管 課	児童家庭課

提供区域	項目	H27	H28	H29	H30	H31
平良北 区域	量の見込み①	14 人	13 人	14 人	13 人	14 人
	確保の内容 ②	0 人	0 人	0 人	0 人	35 人
	差引 ②-①	▲14 人	▲13 人	▲14 人	▲13 人	21 人
平良南 区域	量の見込み①	548 人	557 人	557 人	556 人	551 人
	確保の内容 ②	244 人	293 人	300 人	445 人	535 人
	差引 ②-①	▲304 人	▲264 人	▲257 人	▲111 人	▲16 人
城辺 区域	量の見込み①	37 人	37 人	36 人	36 人	35 人
	確保の内容 ②	30 人	30 人	30 人	40 人	40 人
	差引 ②-①	▲7 人	▲7 人	▲6 人	4 人	5 人
伊良部 区域	量の見込み①	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	確保の内容 ②	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	差引 ②-①	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
上野 区域	量の見込み①	27 人	25 人	25 人	22 人	22 人
	確保の内容 ②	32 人	32 人	30 人	30 人	30 人
	差引 ②-①	5 人	7 人	5 人	8 人	8 人
下地 区域	量の見込み①	52 人	56 人	58 人	55 人	57 人
	確保の内容 ②	0 人	0 人	0 人	40 人	40 人
	差引 ②-①	▲52 人	▲56 人	▲58 人	▲15 人	▲17 人
合計	量の見込み①	678 人	688 人	690 人	682 人	679 人
	確保の内容②	306 人	355 人	360 人	555 人	680 人
	差引 ②-①	▲372 人	▲333 人	▲330 人	▲127 人	1 人

※量の見込み …… 平成26年3月のニーズ調査により算出された数値を表示しております。

※確保の内容 …… 今年度策定した整備計画を基に数値を算出しております。